

# 2020年度 事業運営報告

## I. 事業報告

### 1. シンフォニー定期演奏会（第244回～第253回）

ザ・シンフォニーホールを会場として10公演を開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響により第245回と第246回が中止となった。指揮者は首席指揮者飯森範親に加えて4月より秋山和慶がミュージックアドヴァイザーに就任し、8公演中6公演を両者が担った。残りの2公演については海外からのアーティストが入国できず、佐渡裕氏、川瀬賢太郎氏に代役をお願いすることとなった。佐渡氏に出演いただいた第253回は、コロナ渦でありながらも約1,400名が来場し、大変な1年ではあったがよい形で締めくくることができた。

#### ハイドンマラソン（HM.19～HM.22）

ハイドンの交響曲を全曲演奏・録音する「ハイドンマラソン」も6シーズン目となり、会場をザ・シンフォニーホールに移して更なる演奏の充実を目指した。コロナ渦でありながら4公演を開催することができたが、HM.19については6月20日に日程を移動し、緊急事態宣言後初の再開公演となった。HM.20では、当団首席ファゴット奏者安井悠陽が難曲に挑戦し、見事な演奏を披露した。

### 2. センチュリー豊中名曲シリーズ（Vol.14～Vol.17）

豊中市立文化芸術センターの指定管理事業に携わりながら4公演を開催し、豊中市の文化芸術の発展や地域活性化に貢献した。新型コロナウイルスの影響により、Vol.14は1月7日に延期、Vol.15は指揮者を原田慶太楼氏に変更して開催した。コロナ渦でありながらも、比較的集客が安定していたのは喜ばしいこと。

### 3. ザ・シンフォニーホールとの共催シリーズ

ザ・シンフォニーホールとの共同プロジェクトを立ち上げ、4回の公演を開催した。2020年度はベートーヴェン生誕250周年記念プロジェクトとして4公演を開催。

#### BEST of BEETHOVEN

BB Vol.1	2020年8月9日（日）	皇帝
BB Vol.2	2020年9月8日（火）	英雄
BB Vol.3	2021年2月21日（日）	運命
BB スペシャル	2020年12月2日（水）	歓喜の歌

### 4. 大阪以外での共催公演

広域での観客層の拡大、楽団の認知度、スポンサーの獲得を目的とし、各地の文化財団との共催で、三重（三重県文化会館）、大津（びわ湖ホール）の2会場で公演を開催した。50%の入場者数制限があったため、J-LODliveに申請し、公演の助

成金を確保した。

## 5. 社会貢献活動

新型コロナウイルスの影響により、小学生向けの体験型コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」は2公演の開催に留まり、大阪府下の特別支援学校へ訪問演奏する「支援学校コンサート（巡回）」と入院患者や来院者のための「病院コンサート」も1回のみで開催となった。大阪府下の特別支援学校の児童・生徒を対象にした「特別支援学校コンサート」は予定通り行うことができた。

例年、地域社会との共同やオーケストラの新しい可能性を開拓するため「若者の就労支援」「家族」「高齢者」「地域住民」との活動を4つの柱として、プログラムディレクターの野村誠氏（作曲家）とともに楽団員が一般市民とのワークショップやパフォーマンスを実施しているが、新型コロナウイルスの影響でほとんどのプロジェクトが中止、配信のみとなった。

## 6. センチュリー・ユースオーケストラの指導

公益財団法人関西テレビ青少年育成事業団と連携し、中学1年生から29歳までの青少年を募り、ユースオーケストラを組織して指導・育成を行った。星空ファミリーコンサート、第13回定期演奏会において日頃の活動の成果を披露した。

（新型コロナウイルスの影響で、星空ファミリーコンサートの合同演奏は取り止めた。）

## 7. アンサンブル

2月に「センチュリー室内楽シリーズ Vol.7 ヴィオラアンサンブル」を豊中文芸センターとの共催公演として開催。新型コロナウイルスの影響で、JR大阪駅での「センチュリーエキコン」は中止、大阪クラシックは配信など、約3分の1の公演に影響が出た。

## 8. 依頼公演

音楽宅急便「クロネコファミリーコンサート」、守山ルシオールアートキッズフェスティバル、久石譲ジルベスターコンサート2019、ホセ・カレーラス スペシャルコンサート、文化庁「文化芸術による子どもの育成事業」など、66の依頼公演に出演した。（うち、新型コロナウイルス感染拡大のため4公演が中止、1公演が延期）

## 9. 豊中市立文化芸術センター指定管理事業

2016年4月より豊中市立文化芸術センターの指定管理事業に携わり、5期目となる2020年度は新型コロナウイルスの影響で貸館収入が大幅に減少した。

## 10. 豊中市との連携

2012年に豊中市と提携した「音楽あふれるまちの推進に関する協定」に基づき、「豊中まちなかクラシック」として豊中市内各地でコンサートを実施した（新型コロナウイルスの影響でアンサンブル10公演全てが配信）。また、2018年度より豊中市内の中学1年生を対象とした音楽鑑賞会「ホールでオーケストラ」が開始され、2020年度は2公演開催された。（参加校の減少により1公演キャンセル）

## 11. CDの制作

楽団のPR、演奏技術の向上を目的としオクタヴィア・レコード、キングレコードと協力しCD制作に参加した。

ハイドン：交響曲全集 VOL. 10（2020年10月28日発売）

和田 薫：交響曲癩祭～磨～（2021年2月24日発売）

（指揮：飯森範親）

## 12. オーケストラハウスの管理

これまで、大阪府から貸与を受けているセンチュリー・オーケストラハウスの一部を音楽サロンとして一般市民に開放してきたが、事務所の移転に伴いセキュリティの面から一旦中止をしている。2021年度以降については大阪府と調整中。

### ■カテゴリー別事業損益（単位：千円）

	2016年度			2017年度(決算)			2018年度(当初予算)		
	収入	支出	損益	収入	支出	損益	収入	支出	損益
シンフォニー定期	72,723	101,770	▲ 29,047	63,622	94,290	▲ 30,668	75,383	64,751	10,632
いずみ定期	19,129	18,826	303	15,352	13,891	1,461	11,397	11,067	330
その他自主	41,946	51,714	▲ 9,768	49,001	43,009	5,992	80,056	67,045	13,011
<b>自主公演計</b>	<b>133,799</b>	<b>172,310</b>	<b>▲ 38,512</b>	<b>127,975</b>	<b>151,190</b>	<b>▲ 23,215</b>	<b>166,836</b>	<b>142,863</b>	<b>23,973</b>
依頼公演	190,534	83,921	106,613	177,315	100,843	76,472	177,403	64,991	112,412
豊中事業	27,338	21,810	5,528	37,687	37,257	430	36,177	24,488	11,689
<b>演奏事業合計</b>	<b>351,671</b>	<b>278,041</b>	<b>73,629</b>	<b>342,977</b>	<b>289,290</b>	<b>53,687</b>	<b>380,416</b>	<b>232,342</b>	<b>148,074</b>
共通・管理費用	58,262	434,717	▲ 376,455	135,569	390,146	▲ 254,577	31,400	314,474	▲ 283,074
<b>総合計</b>	<b>409,933</b>	<b>712,758</b>	<b>▲ 302,826</b>	<b>478,546</b>	<b>679,436</b>	<b>▲ 200,890</b>	<b>411,816</b>	<b>546,816</b>	<b>▲ 135,000</b>

## II. 楽団運営

### 1. 事務局体制

演奏事業部、総務経理部の2部体制で運営。従前の企画制作部と営業推進グループを演奏事業部内の部署とし、情報伝達指示系統、照査経路を確立し業務の効率化を図った。また、新たな新規事業を推進すべく7月より営業戦略室を新設し、安藤美姫公演や癩祭プロジェクトを企画した。

豊中市立文化芸術センター指定管理業務に携わる出向者2名については、楽団とホ

ールの両面から相互の連携強化に努めている。

## 2. 広報宣伝概要

緊急事態宣言下での楽団発信を高めるため、楽員にも協力を仰ぎながら Youtube を強化し、4,000 人を超えるチャンネル登録者数を獲得した。(Twitter のフォロワー数は 12,000 名) また、月に 1 回のプレスリリースを目標に掲げ、久石氏首席客演指揮者就任や、瀬祭プロジェクト、緊急事態宣言解除後の日本初再開公演、クラウドファンディングなどの話題を各紙に提供した。

## 3. コロナ渦における主なご支援と取り組み

### 主なご支援と給付金

稲盛財団様	500 万円
三菱 UFJ フィナンシャルグループ様	950 万円
三井住友フィナンシャルグループ様	310 万円
岸本忠三様	1,000 万円
羽山謙造様	500 万円
羽山トクコ様	500 万円
大阪いずみ生協様	100 万円
大阪パルコープ様	100 万円
大阪よどがわ生協様	50 万円
株式会社コーニッシュ様	100 万円
東京海上日動火災保険様	120 万円
日本オーケストラ連盟様	54 万円
國谷史朗理事	250 万円
佐伯照道評議員	50 万円
持続化給付金	200 万円
中小企業庁家賃支援給付金	306 万円
雇用調整助成金	6,528 万円

### クラウドファンディング

豊中市ふるさと納税形クラウドファンディング	5,342,713 円
クラウドファンディング (READYFOR)	15,435,000 円

### 融資

政策金融公庫(新型コロナウイルス感染症特別貸付制度活用により実質無利息)期間 15 年  
60,000,000 円

## 4. 法人営業強化

体制を強化し、既存会員のフォロー強化と新規スポンサーの開拓を実施。

法人サポーター会員 63社 → 65社に微増

オフィシャルスポンサー 17社 → 17社 現状維持

新規加入 フォクスター株式会社

株式会社コーニッシュ

※2021年3月に日本商業開発株式会社様より3度目の1,000万円のご寄付を頂戴した

## 5. 人事情報

- ・ 楽員人事
  - 退職者2名 向井和久（副首席ホルン奏者）定年退職
  - 森亜紀子（ヴィオラ奏者）一身上の都合により退職
  - 定年再雇用者 相蘇 哲（ヴァイオリン奏者）パートタイム雇用
  
- ・ 事務局人事
  - 入職者2名 岩崎 靖（事務局長）
  - 李 実華（経理担当）
  - 退職者4名 岩崎 靖（事務局長）
  - 檜山仁美（チケット担当）
  - 嶋崎 徹（豊中文芸センター）
  - 柿塚拓真（豊中文芸センター）
  - 産休1名 杉原晶子（産休、育休）

以上